

第5・6学年 国語科学習指導案

児童数	5学年		女子	1名	計	1名	
	6学年	男子	1名	女子	2名	計	3名
場 所	5・6年教室						
指導者	山口 有希子						

第5学年 国語科学習指導案

- 1 単元名 地球環境について考えよう
- 2 教材名 「一秒が一年をこわす」(説明文) 「ホテルのすむ水辺」 「『環境新聞』を作ろう」
- 3 単元について

(1) 単元観

第5学年及び第6学年の「読むこと」に関する指導目標は「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」である。「書くこと」に関する指導目標は「目的や意図に応じ、考えたことなどを筋道を立てて文章に書くことができるようにするとともに、効果的に表現しようとする態度を育てる。」である。「言語活動」に関する指導目標は「文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること。」である。5年生は一学期の説明文「海にねむる未来」で具体的な事例や資料を示すことによって、話や提案に説得力をもたせるという、本単元の前段階にあたる学習を行ってきた。

本単元は地球環境について考えながら、文章を読んで要旨をとらえ、自分の課題をもち、課題について調べ新聞に表す学習である。児童が地球環境について事実と自分の考えを区別し、自分の考えをしっかりとめるような授業を展開していきたい。

(2) 児童について

児童は、「海にねむる未来」で、筆者の考えをとらえ自分の考えをもつことを学習し、自分の考えをまとめて意見文に表すという活動をした。その際自分の考えを文章に表すことは容易にできたが、考えが浅く一般的なものになってしまった。そこで、本単元では自分の考えをさらに深く掘り下げることができるよう担任や6年生との意見交流を行いながら授業を進めていきたい。そして、地球環境を守るためにすべきことは何かという目的意識をしっかりと持って課題解決しようとする態度を養いたい。

本来は「『子ども環境会議』を開こう」の教材に入るのであるが、児童数が一名であるため環境会議を開くことはできない。そこで、環境新聞を書くという「書くこと」の学習を取り入れ、「話すこと・聞くこと」の学習活動は、その後の単元「伝え方を工夫して発信しよう」で学習する。

(3) 指導に当たって

本単元の指導にあたって、次のことを留意したい。

つかむ の段階では、16時間という長い単元であるため、なんのための学習かという問題意識を最後までしっかりと持ち続けられるよう問題意識をしっかりと持てるような導入を行いたい。

深める の段階では、各段落の要約をし、最後に要旨を考えることで筆者の考えをしっかりとらえさせたい。そして、筆者の考えをもとに友達と交流しながら自分の考えを持てるような授業を行いたい。

広げる の段階では、筆者の考えをきちんと把握した上で新聞を作り、さらに地球環境について自分で課題を持ち調べ新聞にまとめさせたい。

ふりかえる の段階では、筆者の考えをとらえることができ、その上で自分の考えを持つことができたか、友達の考えを理解し交流することができたかという観点でふりかえらせたい。

4 単元目標

地球環境について考えながら、文章を読んで要旨をとらえ、自分の課題を持つ。

課題について調べたことを整理して新聞を作り、地球環境についてまとめ発表し考えを深める。

読むこと

文章の内容を的確に押さえながら、筆者の訴えようとしたこと(要旨)をとらえる。(イ)

研究の事例について事実を具体的に押さえ、自分の考えをもちながら読む。(エ)

自分の考えを広げたり深めたりするために必要な図書資料を選んで読む。(ア)

書くこと

事象と感想、意見などを区別し、目的に応じ簡単に書いたり詳しく書いたりすること。(エ)

自分の考えを新聞に効果的に書くこと。(ア)

言語についての知識・理解・技能

文や文章にはいろいろな構成があることを理解する。(オ(ア))

国語への関心・意欲・態度

地球環境や身近な環境問題に関心を持ち、自分の課題について意欲的に考えたり新聞に表したりしようとする。

5 指導計画と評価規準(16時間)

過程	時間	学習活動	読むこと	書くこと	言語についての知識・理解・技能	国語への関心・意欲・態度
つかむ	1	・題名やリード文、写真から想像を広げ、どんな内容か予想する。 ・学習計画を立てる。				・教材文に対して興味を持っている。 ・学習計画を立てている。
	2	・新出漢字の練習			・新しい漢字を正しく書いている。	
深める	3	・「一秒が一年をこわす」を読み取る。	・事象と感想・意見の関係を押さえながら、筆者の考えをとらえている。 (4・5・6)		・文章の構成について理解している。 (3)	
	4					
	5					
	6					
	7	・筆者の考えを知り、自分の考えを持っている。				
8	・「一秒が一年をこわす」を新聞にまとめる。	・筆者の考えと自分の考えをまとめている。				
9	・「ホテルのすむ水辺」を読み取る。	・筆者の考えを読み取り、自分の考えをもっている。				・身近な環境問題に関心を持ち、課題をもっている。
広げる	10	・課題について調べ新聞を作る。	・必要な図書資料を選んで読んでいる。(10・11)	・目的に応じ簡単に書き、詳しく書いている。(13・14)	・文章の構成を考えながら書いている。(12)	
	11					
	12					
	13					
	14					
	15	・発表の準備をする。				・発表会に向けて準備や練習をしている。
ふりかえる	16	・意見交流をする	・相手の考えを理解している。 ・感想や意見を持っている。			・友達の発表に興味を持って聞いている。

6 本時の指導(7/16)

- (1) 目標
地球環境について筆者の考えを知り、自分の考えをもつことができる。
- (2) 具体の評価規準

具体の評価基準	Aの状況の具体的姿	Cの状況への手だて
筆者の考えを知り、自分の考えを的確に書いている。	筆者の考えを知り、自分の考えをもち的確に書いたことをもとに、発表している。	筆者の考えを要旨から考え、それに対して自分は賛成か反対を決めその理由を書くことができるような取り組みをさせる。

(3) 展開

評価()及び指導上の留意点()	学習活動	段階	形態
<p>各学年の学習内容に合った音読練習をし、発表する。</p> <p>まとめにつながるような課題にする。</p>	<p>1 音読発表をする。</p> <p>2 課題と学習内容を把握し見通しを持つ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>地球環境について自分の考えをまとめ発表しよう。</p> </div>	<p>つかむ</p> <p>4分</p>	
<p>自分の考えを具体的に書くことができるよう筆者の意図をしっかりと読み取る。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>考えさせたい言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り返しのつかないこと ・おごりたかぶる ・おおきなしっぺがえし </div>	<p>3 全文要約から筆者の意図を読み取り、自分の考えを深める。</p>	<p>深める</p> <p>15分</p>	
<p>計画的に学習が進められるようにプリントに指示を入れる。</p> <p>自分の考えを書くことができたか。(学習プリント)</p> <p>時間に余裕があれば、編集後記を書く。</p>	<p>4 自分の考えをまとめる。</p>	<p>深める</p> <p>15分</p>	
<p>自分の考えを発表することができたか。(発表)</p>	<p>5 学習のまとめを発表し意見交流をする。</p> <p>6 自己評価をする。</p>	<p>まとめる</p> <p>11分</p>	

第6学年 国語科学習指導案

- 1 単元名 言葉と文化について考えよう
- 2 教材名 「外来語と日本文化」「現代を生きる五音、七音」「『言葉と文化』展示館へ、ようこそ」
- 3 単元について

(1) 単元観

第5学年及び第6学年の「読むこと」に関する指導目標は「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」である。「書くこと」に関する指導目標は「目的や意図に応じ、考えた事などを筋道を立てて文章に書くことができるようにするとともに、効果的に表現しようとする態度を育てる。」である。「言語活動」に関する指導目標は「易しい文語調の文章を音読し、文語の調子に親しむこと」である。6年生は「短歌・俳句を味わおう」で言葉のリズムについて触れている。本単元はその学習の上に積み上げられているものである。

本教材は、室町時代や江戸時代に入ってきた外来語のルーツを探ったり、俳句や短歌のリズムにふれたりすることで言葉と文化について関心を持つという教材である。文化という抽象的なテーマについて考えることは今までなかったことであるが、自分を取り巻く言葉や文化は実は長い歴史の中から生まれてきたという事実から児童のものの見方・考え方の幅を広げるような展開をしていきたい。

(2) 児童について

6年生三名の児童は一学期説明文「火星に生命をさぐる」で要旨をおさえ、筆者の考えと自分の考えを区別し、それを新聞にまとめるという活動を行った。筆者の考えをとらえることはできるが、今回の説明文のテーマである言葉と文化という抽象的なテーマについては、内容を理解することは難しいと思われる。そこで、授業に入る前に文化とは何かということをしっかりとおさえたいので授業をすすめ、児童の考えの幅を広めていきたい。

(3) 指導にあたって

本単元の指導にあたって、次のことを留意したい。

つかむ の段階では、外来語クイズや文化について興味を持たせ、言葉と文化というテーマをしっかりとおさえたいので教材文に入りたい。

深める の段階では、「外来語と日本文化」で、筆者の考えを知ることの他にテーマに沿って毎時間自分の考えをまとめ外来語を中心に日本の言葉や文化について見つめ直し、「現代を生きる五音・七音」では、音読をし、日本独特のリズムを楽しむ。

広げる の段階では、今までの学習を生かして言葉や文化に関係のあるもので興味のあるものの中から自分の課題を見つけ取り組む。

ふりかえる の段階では、「言葉と文化」展示館を開いてみんなに自分の作品について紹介し、友達の作品を鑑賞する。

4 単元目標

言葉と文化について関心を持ち、文章を読んで要旨をとらえ自分の課題を持つ。

課題について取り組んだことをまとめて展示物を作り、「言葉と文化」展示館を開く。

読むこと

書かれている内容について事象と感想・意見との違いを押さえ、自分の考えをもちながら読む。(工)

言葉と文化について考える目的で文章を読み、内容を的確に押さえながら要旨をとらえる。(イ)

書くこと

各自取り組んだ内容を、分かりやすくまとめる。(ア)

調査した内容を効果的に表現するために、発表の方法を工夫する。(オ)

言語についての知識・理解・技能

文語に親しむ。(エ ア)

語感・言葉の使い方などに関心を持つ。(ウ エ)

国語への関心・意欲・態度

日本の言葉と文化に関心を持ち、課題を決め解決のための方法を工夫したり、資料を探したりしている。

言葉と文化について自分の考えを持ちながら文章を読み内容を押さえながら要旨をとらえようとしている。

第6学年

5 指導計画と評価規準(14時間)

過程	時間	学習活動	読むこと	書くこと	言語についての知識・理解・技能	国語への関心・意欲・態度				
つかむ	1	・新出漢字の練習			・新しい漢字を正しく書いている。					
	2	・題名やリード文、から想像を広げどんな内容か予想する。 ・学習計画を立てる。				・教材文に対して興味を持っている。 ・学習計画を立てている。				
深める	2	・「外来語と日本文化」を読みまとめる。 7 本時 ・「現代を生きる五音・七音」を読む。 ・言葉と文化についてまとめる。	・事象と感想、意見の関係から、作者の意図に気づき、自分の考えを持ちながら読んでいる。 (3・4・5・6・7)		・難語句について意味を理解しながら音読している。 (2)					
	3									
	4									
	5									
6										
8	・「現代を生きる五音・七音」を読む。								・言葉のリズムや響きの心地よさを感じている。	・教材文に対して興味を持っている。
9	・言葉と文化についてまとめる。									・今まで学習してきたことをまとめ課題を決めている。
広げる	10 11 12 13	・「言葉と文化」展示館を開く準備をする。		・計画を立て、課題を解決しまとめている。						
ふりかえる	14	・発表会を行い意見交流をする。	・相手の考えを理解している。 ・感想や意見を持っている。			・友達の作品に興味を持って見ている。				

7 本時の指導(7/16)

(1) 目標

言葉と文化について筆者の考えを知り、自分の考えを持ちまとめることができる。

(2) 具体的評価規準

具体的評価基準	Aの状況の具体的姿	Cの状況への手だて
筆者の考えを知り、自分の考えをもちテーマに沿って書いている。	筆者の考えを知り、言葉と文化について自分の考えの他に興味を持ったり、疑問を持ったりして、それを書き発表している。	筆者の考えをもとに、気づいたところや、わからないところをまとめ書くような取り組みをさせる。

(3)展開

形態	段階	学習活動	評価()及び指導上の留意点()
	つかむ 4分	1 音読発表 2 課題と学習内容を把握し見通しを持つ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 言葉と文化について自分の考えを深め意見を交流しよう。 </div>	各学年の学習内容に合った音読練習をし、発表する。 まとめにつながるような課題にする。
	深める 15分	3 学習プリントにまとめる。	計画的に学習が進められるようプリントに指示を入れる。 全員が作業を終了したならば自分のまとめたものをお互い発表し合う。
	深める 15分	4 言葉と文化についてまとめる。 5 言葉と文化について自分の考えをまとめ発表し合う。	外来語全般と日本文化の関連、言葉と文化についての考えが書くことができるよう指導する。 言葉と文化について自分なりの考えをもつことができたか。
	まとめる 11分	6 自己評価をする。 7 5年生の発表を聞き、意見交流をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 発表を聞く視点 筆者の考えに対する自分の考えが書かれているか。 </div> 8 5年生へアドバイスカードを書く。	6年生が発表しやすいよう視点を示す。 5年生の意見に対する自分の考えを発表し意見交流ができるようにする。